

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

細野勝昭

活動報告

2020年(令和2年)新年号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3



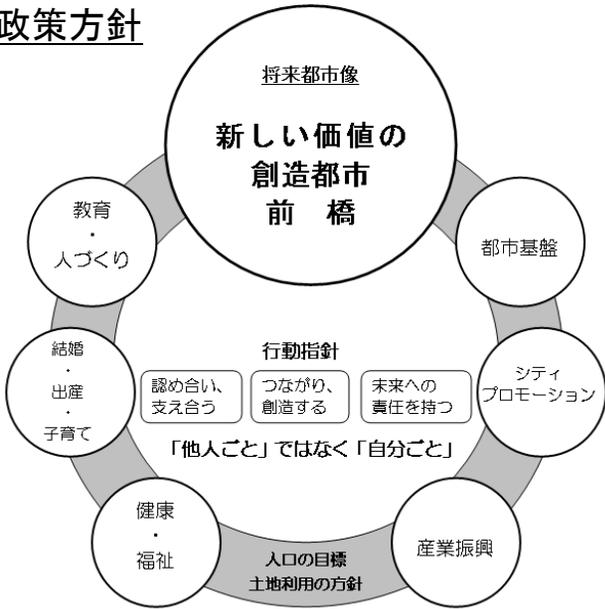
迎春

新年あけまして
おめでとーございませ
ん
お元気で爽やかに
新春をお迎えのこと
と
拝察致します

<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>

計画期間:2018~2027年度の10年間

政策方針



10年後の人口目標(2027年度)318,000人

ビジョン

めぶく。

~良いものが育つまち (where good things grow.) ~

昨年は、30年余り続いた「平成」が終わり「令和」に改元され、新天皇の即位に伴い五月一日、新元号「令和」の時代が始まりました。自然災害の多い年でもありました。10月12日に接近した過去最強クラスの台風19号は、各地にかつてない爪痕を残しました。群馬県内でも台風被害で4人の尊い人命が失われました。自然災害の驚異は、いつ・どこで起こるか判りません。「備えあれば憂いなし」との想いで、災害に対処するための備えとして、地域防災組織の確立と、日頃の防災訓練は重要であります。安全・安心な生活環境構築に取り組み、行政と連携を取り推進していきます。今年一年が、オリンピックの開催など楽しい話題の多い年となるよう願っております。

国の2020年の予算総額、過去最大の102兆6580億円が閣議決定され、社会保障費が35兆8608億円と過去最大に膨らんだとのことであり、予想を上回るスピードで少子化が進んでおり、実効ある出生率向上策や子供が多い世帯への経済支援など、国策としての支援策が強く求められます。



財政という視点から申し上げますと、本市を取り巻く環境も極めて厳しい状況にあると言えます。加えて現在CCR事業・駅北口再開発事業・アーバンデザイン事業・中心市街地再開発事業・道の駅など、事業内容によっては国・県からの支援策はあるものの事業執行にあたっては、資金力と時代背景などを勘案すると厳しいものが考えられます。

事業推進にあたって、官・民との役割分担の明確化と各種事業の議会に対する説明責任などが強く求められます。ましてや事業執行には、市民からの貴重な税金が投入されることになるので、費用対効果が検証できるような仕組みづくりが求められます。

今、議会の質疑の中で「議会軽視」というやりとりがありました。議会の姿勢として反省を踏まえ対応していく必要を感じました。

前橋市長選の対応として、所属会派の市民フォーラムは、「岩上憲司」氏を応援することになりました。岩上憲司氏の政治姿勢である「市民が主役との基本認識にたつて、徹底した情報公開と説明責任を十分果たし、対話と協調による開かれた市政を推進すること」と。この姿勢は、現在の前橋市政に最も必要なことと考えております。

地域の皆様の力強いご支援で、前橋市の新しい舵取りとして「岩上憲司」市長の誕生に協力いただきますよう心からお願い申し上げます。

私の政治姿勢でもある「主役は市民」。この信念に基づき、誠実・努力・行動力を持って果敢に挑戦し、前橋市が抱えている諸課題解決に向け、住みよいまちづくりに取り組んでいきます。

今後も一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりましても幸多い年でありませう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

「今年も一年がんばるぞ」

細野勝昭 拝



総括質問をする細野議員

第4回(12月)定例会
総括質問(抜粋)

*まちづくりについて

・第七次総合計画の進捗状況に関する内部評価結果を有識者会議に諮ったとのことですが、内部評価の取りまとめは、それぞれ所管課の職員かと思いますが、評価は2018年度の実施事業の8割以上を「A(順調)」「B(概順調)」と高い評価をされていますが、いずれも職員の評価であります。そこで具体的に職員のどの階層に当たる人がまとめられたのか伺います。

・庁内評価結果に対して実態との乖離から、一部評価を疑問視する有識者もいたとのことですが、会議の席上、すべての項目でA評価だった「まちなかの魅力向上について」「すべてAは違うのではないか」との指摘があったとのことですが、この指摘内容についてどのような受け止め方をされているのか伺います。



・53項目の重点事業の内、新産業の創出と新市場の開拓、人材の確保・育成支援、企業立地の推進など、本市にとって生産労働人口確保と働く場所の確保は、最重要課題であります。「前橋は大丈夫なのか」との声も聞くようになってきました。この問題を深刻な問題として受け止め、具体的に組み込まれた事業内容と成果について有識者会議のメンバーの事業評価はどうであったのか伺います。

(要望事項)

有識者はC評価が妥当という評価をされており、一言で言う「どこを向いて仕事をされているのか」、今の「まちづくり」ということについて「太陽の鐘」の設置を含め、私は「負の連鎖」が起きているのではないかと印象する受け取ります。このような評価のもとで、多くの事業が検討されていることに不安を感じます。それぞれの事業には、市民の貴重な税金が使われているということを念頭に置いて、事業執行されますよう苦言を呈しておきます。

*財政問題について

・30年度決算では、実質単年度収支は、約20億6千万円の赤字、財政指標である経常収支比率は98%と財政状況は厳しい状況にあると言えます。このような状況にあっても、マスタープランである第七次総合計画を掲げ、まちづくりを推進しなければなりません。社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するために、行財政計画に位置付けられた、各種施策の着実な実施と重要指標の改善や徹底した業務改善が求められます。また民主導の事業が多くみられ

*政策策定のプロセスについて

ますが、事業推進にあたっては、官と民との役割分担の明確化と事業資金確保が大きなポイントになります。今日の社会情勢の変化ということは無視できないと考えますとリスクに対する対処法など検討される要素も考えられますが見解を伺っておきます。



・策定にあたって職員の多くは所管する業務について、直接市民との接点があることから、沢山の情報を持っていると思われ、重要なことは政策策定にあたって多くの職員の意見を聞き、参画意識を高め、政策としてまとめ上げていくことが、実効ある政策実現の大きなポイントと考えられます。策定にあたって配慮すべきことはトップダウンではなく、ボトムアップの段階で十分な論議がなされることが重要と考えますが、政策策定までのプロセスについて伺います。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所
〒371-0801
前橋市文京町1-45-3
TEL: 027-221-2208
FAX: 027-221-2279
携帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026
前橋市大手町2-12-1
TEL: 027-224-1111
所属 会派: 市民フォーラム
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員